わがまち熊谷のできごと

※記念撮影時には、マスクを外しました。



関東大会と全国大会で活躍しました

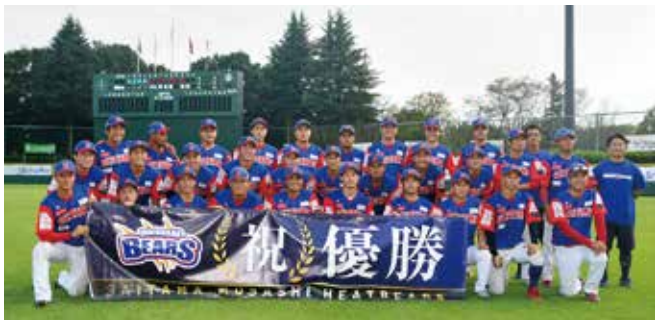
9月28日、陸上、女子野球、水泳の関東大会・全国大会成績報告に市内各中学校の生徒たちが市長を訪問しました。



左から2人目が栃金瑛音さん、中央が石川皇輝さん

空手の全国大会で優勝・入賞しました

9月29日、第21回全日本少年少女空手道選手権大会で形競技優勝の石川皇輝（いしかわおうき）さんと組手競技5位入賞の栃金瑛音（とちがねえいと）さんが市長を訪問しました。



2021シーズン終了、ご声援ありがとうございました！

熊谷市を拠点に活躍するプロ野球・BCリーグに所属する「埼玉武蔵ヒートベアーズ」が東地区で優勝を飾ることができました。



ラグビータウン熊谷ポスター展 表彰式

9月12日、さくらオーバルフォートにて「パナソニック ワイルドナイツ移転記念　ラグビータウン熊谷ポスター展」の表彰式が行われました。



パックンマックンも登場！日本語スピーチコンテスト

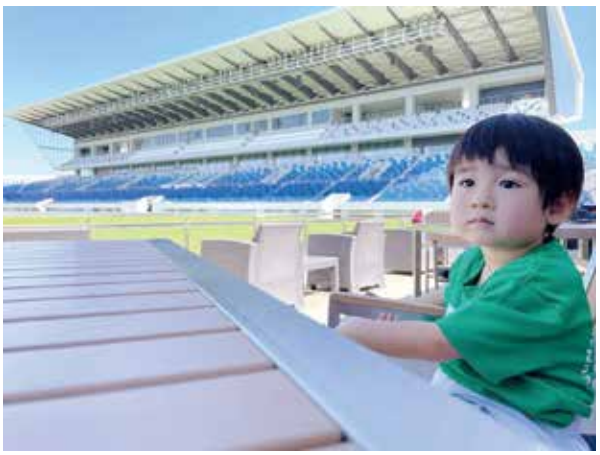
9月26日、さくらめいと太陽のホールにて無観客で開催され、9か国17人の外国人が日本での経験などを日本語で発表しました。



別府沼の貴重な自然を観察しました！

10月2日、自然観察会が開催され、赤とんぼが飛び交う秋空の下、「別府沼を考える会」の皆さんが希少な湿性植物を紹介しました。

Instagram



熊谷ラグビー場内カフェ

@kojiaksishi

ラグビースクール後のひととき。
がんばる息子を応援！

熊谷の魅力 再発見

#kumacitygram

埼玉県下で初めて組織された自由民権結社「七名社」



七名社員の集合写真(明治後期撮影)　埼玉県立文書館収蔵
(後列左から)中村孫兵衛、小泉寛則、長谷川敬助、石川弥一郎
(前列左から)鯨井勘衛、稲村貫一郎、石坂金一郎

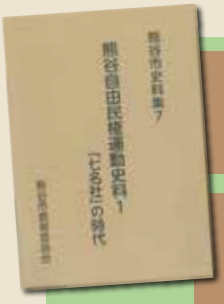
今、渋沢栄一を中心に注目を集めている明治時代の初めに、県下で初めて組織された自由民権結社である「七名社」をご存じでしょうか？

明治８（1875）年、妻沼の両宜塾などで学んだ熊谷と近隣出身の若者たち――石川弥一郎（熊谷宿）、稲村貫一郎（上川上村）、石坂金一郎（中奈良村）、中村孫兵衛（上中条村）、小泉寛則（三ヶ尻村〈生まれは下奈良村〉）、鯨井勘衛（玉井村）、長谷川敬助（北河原村〈現・行田市〉）の７人により創設されたのが、「七名社」です。

その活動は、当初は学習会を目的としたものでしたが、次第に自由民権論の討論や演説会を積極的に行うようになり、さらには県の政策に対する提言も行っていきました。このように活動を広げていった彼らは、近代の熊谷と県北地域を牽引する先覚者となり、やがて、国政、県政、あるいは財界で、大きな足跡を残すこととなります。

本市では、現在進めている熊谷市史編さんのための史資料調査の成果として、この七名社の関係史料（熊谷市史編集委員による解説付き）を収録した『熊谷市史料集７ 熊谷自由民権運動史料１「七名社」の時代』を刊行しました。

なお、新発見の史料として、後に県会（現在の県議会）副議長も務めた稲村貫一郎の日記「烟雲雑誌」も収録しました。



『熊谷市史料集７
熊谷自由民権運動史料１
「七名社」の時代』

価格　1,000 円
販売場所　社会教育課(本庁舎6階)、江南文化財センター、妻沼展示館、市立熊谷図書館、戸田書店熊谷店

◆市史編さん室　TEL 048-567-0355



読んで当てよう！市報クイズ

今月の問題

次の○○○に当てはまる言葉をお書きください。
STOP！児童虐待　189（いちはやく）
「だれか」じゃなくて「○○○」から

アンケート

Q1 今月号市報の感想をお書きください。
Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。
Q3 3･4 ページの中で一番思い出深い出来事は何ですか。

応募方法　ハガキまたは応募フォームに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題とアンケートの回答を必ず明記し、11月30日(火)までにご応募ください。(1人につき1通)
※回答がないものは無効となります。
《応募先》〒 360-8601 宮町 2-47-1
熊谷市広報広聴課
✉:kohokocho〔アットマーク〕city.kumagaya.lg.jp
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

今月のプレゼント

Café&Dining Carpe diem の【平日店内限定】お好きなデザート一品を 50 人にご提供します！

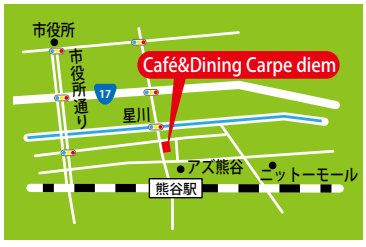
お店の方からひとこと
スタッフ一同、ご来店楽しみにお待ちしております。



店舗外観



メニュー一覧



[店舗情報]
Café&Dining Carpe diem
住所：熊谷市筑波 3-92-1 天望ビル３階
電話：048-594-9059
営業時間：11:30～21:00
(料理ラストオーダー20:00)
定休日：月曜日

９月号の正解

マイ・タイムライン　　◆応募総数 214 通中　正解 200 通

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。
詳しくは、広報広聴課 TEL 内線 212 までお問い合わせください。

情熱世代

夢追い人

Dream Followers

書くことは生きていくこと

島口（しまぐち） 大樹（だいき）さん（県立熊谷高等学校出身）

「鳥がぼくらは祈り、」第64回群像新人文学賞受賞



何かを表現したくなり書き始めた

小さい頃から本を読むのが好きでした。高校ではサッカー部に所属し、特段小説を書いたことはなかったです。大学生になり、自由な時間が増えて、自分を見つめる時間・考える時間ができました。小説を書き始めたのは、そうした中で、自分で何かを表現したいのだと気付いたことが、きっかけです。

小説を書き始めて4年目ですが、書き方は今のところよく分からないです。ただ、よくある「小説の書き方」の本にあるような理屈で書くのではなく、無意識に心のままに書くのが今の自分に合っていると思います。

受賞作は「うちわ祭」など熊谷が舞台

今回の作品は去年の秋頃、初めて友達をテーマに書いてみようと思い、書いた作品です。友達との時間のことを振り返ったとき、一つの教室で同じ時間を過ごす高校生活が印象深く、自然とその設定になりました。元々、この作品は世に出すつもりで書いた作品ではなかったのですが、知人や友人に読んでもらったら、本好きな人も、普段読まない人も「いい」と言ってくれて、「賞に出さないの？」と言われたので、好きな先生が選考委員にいる群像新人文学賞に応募しました。

受賞したことはもちろんうれしいのですが、家族・友人・高校時代の先生など、自分の周りの人たちがものすごく喜んでくれたことが良かったです。

自分の生活の一部として書き続けたい

一時期、エンタメ系の文学も書いていたのですが、文を分かりやすくしたり、型をかっちりと決めたりしないといけないので、つまらなくなってしまいました。僕の中では「書く」ことはライフスタイルの一部なので、可能な限り僕自身が楽しみたい。しばらくは純文学で行きたいと思います。ただ、作家に専念したいとかは思っていません。書くことを仕事にすると、書くことが楽しめないかもしれないので、会社員を続けながら、長く書き続けたいなと思います。

社会人1年目の僕が言うのも何ですが、中学生、高校生の皆さんには、ぜひ全力で好き勝手やってほしいなと思います。きっちりとやらないと得られない思考・経験があります。その経験はほかでも生きていくと思いますので。



島口さん著書
「鳥がぼくらは祈り、」

11月のKUMAGAYAびと らぐ人

RUGBY TOWN KUMAGAYA



埼玉パナソニックワイルドナイツ
宮川（みやかわ） 智海（ともひと） 選手

ポジション：LO(ロック)、FL(フランカー)
身長 / 体重：191cm/106kg
生年月日：1994年9月6日
ニックネーム：みや

●ワイルドナイツに決めた理由
大学生のときのトップリーグ「LIXIL（リクシル） CUP（カップ）」決勝戦（パナソニック ワイルドナイツ 27-26 東芝ブレイブルーパス）を見に行ったとき、このスター集団の中でプレーできるチャンスをもらえるなら、自分もこういうレベルの高いところに身を置いてやりたいと思い、入団を決めました。

●ラグビー以外に得意なこと（好きなこと）
ダーツです。大学のときに暇すぎて始めました。手が長いので有利だと思います。

●熊谷の出没スポット（お気に入りの飲食店など）
ゴールデンタイガーです。僕、ラーメンがめっちゃ好きなんです。おすすめはTKM（たまごかけめん）です。僕は500グラムくらいしか食べないんですけど、床田（とこた）（床田裕亮（ゆうすけ）選手）が1キログラムくらい食べてました。（笑）二郎系が好きなので、ジャンクガレッジとかも好きです！新しくできた中本もぜひ行きたいです。おすすめの熊谷のラーメン屋さんを教えてください！

●熊谷に移転しての意気込み
熊谷はすごく力を入れて市で盛り上げてくれているので、それに僕も貢献できたらいいなと思います。熊谷を盛り上げるためならなんでもします！

◆ラグビータウン推進課 TEL 内線345

人口と世帯

●令和3年10月1日現在（対前月比）
■人口　194,122人（-19）　男　97,076人（+2）　女　97,046人（-21）　■世帯　88,095（+54）

「市報くまがや」11月号は、73,800部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本に掛かる市の負担は、1部当たり17円です。
「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日　令和3年11月1日　●発行　熊谷市
●編集　広報広聴課　〒360-8601　熊谷市宮町二丁目47番地1
TEL 048-524-1111（内線206）　FAX 048-520-2870

「市報くまがや」は、毎月1日（原則）に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・さくらめいと出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。（URL）http://www.city.kumagaya.lg.jp/